

令和 7 年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

地域サポートセンターよいどこい

霧島市国分府中町 17 番 8 号

電話 0995-48-8877 fax0995-48-8800

<http://www.yokaanbe.com/>

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・（地②-1～6）

◆総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和7年12月10日 (19:00~20:30)
	令和8年1月8日 (19:00~20:30)
	令和8年2月5日 (19:00~20:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村 (彩)・中村 (敦)・田上・林・繰・日高・東中道・工藤・塩満・吉永・芝・ハン
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	4人	0人	16人

前回の改善計画

○新規のご利用者との時間をつくる

- ・1日5分直接関わることを通して、関係を築くことを大事にする。
- ・互いに自己紹介し、そこからご本人の様々な情報も得ることができる

前回の改善計画に対する取組み結果

挨拶から自己紹介を必ずおこない、会話へつなげることができた。また、マスクを下げ顔全体が見える様にして挨拶することも行った。傾聴を心掛けて想いを話してもらったが、人によってはどこまでお話を深め、訊いてよいのか?迷うことがあったり、会話が続かないこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	11	2	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	12	2	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	9	4	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	10	6	0	16

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・新規のご利用者が来所された時、訪問した時に積極的に声を掛けている。初回の相談を受ける機会にご本人、ご家族の話を傾聴する姿勢が持てた。また、困りごとや支援してほしいことを理解しようと努めた。1日5分椅子に座りお話ができた。ニーズに対して自分に出来る事、事業所として出来る事を考え、どうしたら出来るかを考えた。

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・会話が短くなってしまいその人の事を知ることが (情報収集) できなかった。・ご利用者の戸惑い以上に自分がうまく関わろうとしてどう接してよいか悩むことも多かった。難聴の方との関係の作り方について工夫が足りなかった。ご利用者の不安や心情に寄り添えていなかったと思う。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○新規のご利用者との時間をつくる (改善計画の継続)

- ・1日5分直接関わることを通して、関係を築くことを大事にする。
- ・互いに自己紹介し、そこからご本人の様々な情報も得ることができる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和7年12月10日 (19:00~20:30)
	令和8年1月8日 (19:00~20:30)
	令和8年2月5日 (19:00~20:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村 (彩)・中村 (敦)・田上・林・繰・日高・東中道・工藤・塩満・吉永・芝・ハン
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	0人	15人	1人	16人

前回の改善計画	○ご利用者一人一人の声を聴く ・B0システム (記録入力媒体) の「要望・訴え」の項目に、その人が語った思い、願い、希望、したいこと、してほしくないこと、など職員が感じ取った内容を記録に残す。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者の要望や～したいことの実現に向けた行動を起こすことができた。また、要望等の情報を朝礼等の機会でも共有することができたのだが、決めたように B0 システムの項目に記録として残すことが疎かになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	3	11	2	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	5	9	2	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	3	11	2	16
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	3	12	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ご本人やご家族の意向を聴くことができた。・ご利用者によっては、その方の希望や、行きたいところへ一緒に同行することもできた。また、ご家族が本人の事を思い、手伝ってもらったらこんなことがしたいと希望を聴く関係を作れている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・普段の関りの中で、日常生活への支援はできているが、それ以外の「～したい」ことへ目を向けていなかった。～したいことの実現に対して全員の声を聴くことができなかった。・また、その願いの実現に向けた検討を皆で行うまで至らなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 『～したいこと』に対して実行したこと、できたこと、を記録に残していく。 ・B0システムへ記録する。 ・記録検索しやすいように、「ヤッタ」というキーワードを見出しにして記録する。 ・取り組み月間 (R8年4月～6月) 振り返り期間 (R8年7月)
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和7年12月10日 (19:00~20:30)
	令和8年1月8日 (19:00~20:30)
	令和8年2月5日 (19:00~20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・林・繰・日高・東中道・工藤・塩満・吉永・芝・ハン
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	5人	2人	16人

前回の改善計画	○ご利用者の日常の自然な表情、状況を写真に残し、機関紙にその表情を紹介することができる。 ○マップ化(見える化)されたご利用者の情報の中で、その方にとって暮らしの中で継続したい大事なことを支援することができる。(例:お墓参り、故郷に行く、使い慣れた物を使い続けるなど)
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者の嬉しい瞬間、イキイキしている瞬間など、機関紙や、ご家族に知ってもらいたく、写真に収めることができ、機関紙掲載もできた。また、ご利用者によっては、知り得た情報から普段から好まれていたお菓子を買ひ物に同行したり、ご本人が行きたい場所へお連れすることもできた。反面、マップ化する部分が実行に移すことができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	8	5	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	11	3	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	5	9	0	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	10	3	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10	4	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ご利用者の体調等の変化に気づいた時他のスタッフにも報告して、その時に必要な対応を行えた。・機関紙を毎月発行する機会を通してその方の表情、想い、日々の活動を発信することができた。・本人の日常のご様子から必要な支援をその方以外の環境にも目を向けることができた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・実践することができていても、その記録を振り返る、共有する機会を持つことができなかった。・日々の目の前の業務に気をとられている。・他の職員が記録した情報の確認ができていない。・目標で決めたマップを活用した取り組みができなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ○ご利用者の日常の自然な表情、状況を写真に残し、機関紙にその表情を紹介することができる。 ○日常生活の支援に直接関わったスタッフが B0 システムへその都度入力することで、記録の質の向上を図り、日常の理解と、変化に気づけるようにする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和7年12月10日(19:00~20:30) 令和8年1月8日(19:00~20:30) 令和8年2月5日(19:00~20:30)
-----	---

4. 地域での暮らしの支援

メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・林・繰・日高・東中道・工藤・塩満・吉永・芝・ハン
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	11人	3人	16人

前回の改善計画	○ご利用者本人と関係のある方を知る。またその関係する方との関係性を理解する。それらの情報をご利用者ごとマップ化(見える化)し情報を整理する。
前回の改善計画に対する取組み結果	その人のマップ作りが上手く進まないことの課題分析があまく、今年も取り組みはできなかった。その中でもカンファレンスにおいてその人の情報を整理する時に実施する場面もあったが、スタッフが取り組めたという感覚はほとんどなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	2	11	3	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	4	8	1	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	9	4	3	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	4	6	6	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・ご利用者のこれまでの暮らしぶり、ご家族、近所の方との関係性など理解に努められた。・そのご利用者とお付き合いのある方と事業所とのつながりができた。その方が行きつけの店、床屋、支援者、など本人に聞き関係を継続する支援ができた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・その地域の民生委員や他の地域資源についての把握は積極的にはできていない。バラバラに集めた情報を見える化(マップ化)することを決めたが実行できなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ○ご利用者本人と関係のある方を知る。またその関係する方との関係性を理解する。それらの情報をご利用者ごとマップ化(見える化)し情報を整理する為のカンファレンスの実施計画を立てる。 ・上半期4月~9月(R8年3月に2名のご利用者を決める) ・下半期10月~3月(R8年9月に2名のご利用者を決める) ・マップ作りカンファレンス実施月をR8年3月に決める。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和7年12月10日(19:00~20:30) 令和8年1月8日(19:00~20:30) 令和8年2月5日(19:00~20:30)
-----	---

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・林・繰・日高・東中道・工藤・塩満・吉永・芝・ハン
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	11人	2人	16人

前回の改善計画	<p>○1~9の行動の中で得たご利用者を中心にした情報をカンファレンスを用いて整理し、実践へ展開することができる。</p> <p>・この5の改善計画の位置づけとして、集まった情報を基にその人の暮らしの支援、~したいことの実現、イベントへの展開に活かすことができる中核的な項目とする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・カンファレンスを実施することができたが、他の項目で得た情報の活用という部分で、具体的に書面や記録を活かすことができていない。</p> <p>・ご利用者によっては、~したいを実現することができているが、そこに関わったスタッフは達成した実感があるが、そもそも「~したい」というものの言葉の定義がスタッフ間でそれぞれになっているのではないかと考察する。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	3	10	1	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	11	0	0	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	9	4	0	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	9	3	1	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・ご利用者の変化や、問題が生じた時のカンファレンスの開催はその都度開催することができた。・その日体調などに合わせて、他、その日のその方の~したいことに合わせて柔軟に対応できた。・ご利用者の変化などに応じてカンファレンスを実施し、ケアの方向性を話し合い職員間で共有することができた。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・振り返れば、本人の変化に気づかないことがあった。・本人の声を訊く、または、聴けていたか?ご利用者の真のニーズを確認できていたか不明確だった。カンファレンスを定期的には開催が難しかった。・地域資源についての情報収集を意識的にはできなかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>○カンファレンスの定期的な開催</p> <p>・集まった情報を基にその人の暮らしの支援、~したいことの実現、イベントへの展開につなげる。</p> <p>・R8年3月カンファレンスの実現可能な日程を決める</p> <p>・勤務予定に事前に開催期日を明記する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和7年12月10日 (19:00~20:30)
	令和8年1月8日 (19:00~20:30)
	令和8年2月5日 (19:00~20:30)

6. 連携・協働

メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・林・繰・日高・東中道・工藤・塩満・吉永・芝・ハン
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	6人	5人	3人	16人

前回の改善計画	○ご利用者の主治医の医療機関、かかりつけ薬局などへ受診の際に、その機関の特徴、医者や看護師とのやりとりの様子や雰囲気、窓口、連携担当者、などを立ち会った職員がB0システムに記載する。 ・その情報をカンファレンス等の場で4の項目のマップに展開する。
前回の改善計画に対する取組み結果	この改善計画の主旨は、その情報共有により他のスタッフも対象となる医療機関関係者とのコミュニケーションが図りやすくなることであったが、受診同行するスタッフはどうしても特定のスタッフに偏ってしまいますことから、そのスタッフ任せの結果になってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	4	5	7	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	4	2	10	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	4	2	10	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	11	2	3	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・担当者会議にて、医師、訪問看護、福祉用具業者、ご家族、など関係者と集うことができた。・身寄りのないご利用者の会議において、霧島市の福祉課、包括支援センター、住宅課、司法書士事務所など関係者と会議を開催することができた。・事業所の秋祭りには地域の方々が多く足を運んでくださった。・スクールガードに参加することができた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・役割として、関係機関の方々と会う機会は持てなかった。・地域の方々と普段の日常で交流する機会としても機関紙配りなど行うが、それ以外に積極的な行動は実行できなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ○よいどこいが管理している「浪漫ティック Farm」を活用し、ご利用者と作物を作る中、地域の方が畑に注目してくれることや、収穫した作物で収穫祭を開催し、交流を図ることができる。 ・R8年2月にはジャガイモを植えることからスタートする。 ・年間通して作物育成の目標を立てる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和7年12月10日 (19:00~20:30)
	令和8年1月8日 (19:00~20:30)
	令和8年2月5日 (19:00~20:30)

7. 運営

メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・林・繰・日高・東中道・工藤・塩満・吉永・芝・ハン
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	8人	2人	16人

前回の改善計画	<p>○運営推進会議に職員とご利用者も参加できる場に行うことができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議参加者のニーズを知る・地域の課題に目を向ける・ご利用者も地域住民として参加できることを考慮してテーマ設定を行っていく。 <p>○積み木プロジェクトの展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで納品した保育園へ連絡し、メンテナンスさせていただき取り組みを行う。 ・新しい納品先を決定し納品する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>運営推進会議には普段参加していないスタッフも参加できるようにしたかったが、一年通して少ない人数であった。しかし、会議内容によってはよほどこいりビングなどの場で開催でき、交流することができた。積み木プロジェクトについては以前納品した保育園さんの積み木をメンテナンスすることができたが、新しい納品先を見つけ出すことが進まなかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	2	2	10	2	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	9	5	0	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	3	6	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	7	3	6	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービス事業所連合会、ライフサポートワーカー等として交流を図れた。 ・霧島市の母子支援事業の委託を受け、連携を図れた。 ・8月豪雨災害に復興ボランティアとして参加を行えた。 ・運営推進会議で地域の方(運営推進会議メンバー)と防災訓練に取り組みした。 ・近所でケガした子供が助けを求めにきてくれ対応できた。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は役割として参加スタッフが固定的だった為、他のスタッフが継続して参加できなかった。 ・積み木のメンテナンスが一か所のみとなってしまう、他の納品先に声掛けが出来なかった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ○運営推進会議に職員とご利用者も参加できる場に行うことができる ・固定メンバー以外のスタッフが参加できるように計画する。 ○積み木プロジェクトの展開 ・納品目標を、保育園等以外に、母子支援で出会った家庭も対象にする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和7年12月10日 (19:00~20:30)
	令和8年1月8日 (19:00~20:30)
	令和8年2月5日 (19:00~20:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・林・繰・日高・東中道・工藤・塩満・吉永・芝・ハン
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	8人	6人	16人

前回の改善計画	○毎月の職員会議又は職員研修の中でミニ勉強会を開く ・日常のケア全般の中において学びたい内容を「研修チーム」が中心となり決めて準備し、月の職員会議、または職員研修でミニ勉強会を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修チームがうまく機能できず、ミニ勉強会に向けて動く姿勢がとれなかった。これは、当初改善計画を立てる段階で実際明日からどう動いていくか?という具体的行動計画と、熱意が足りていなかったと思われる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	7	3	1	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	5	6	16
③	地域連絡会に参加していますか	2	1	4	9	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	5	3	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・霧島市ライフサポートワーカー養成研修に今年も一名参加できた。・自己研鑽の為に資格試験にチャレンジできた。・インシデントアクシデントレポートを速やかに提出すること、報告することができた。・法定研修を毎月受講できた。・他の事業所と合同で研修を企画し実施することができた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・研修チームが機能しなかったことについて、サービス評価改善計画で決めたことを実行に移す為の具体策や行動を起こす熱量が足りていなかった。旗振り役も必要だったと思われる。インシデントアクシデントレポートに目を通すことが疎かになった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ○インシデントアクシデントレポートの振り返り、事故の検証と再発防止に取り組む。 ・直近のカンファレンス、職員会議の機会においてスタッフでその時間をつくる。 ・これまでの事故原因の要因の一になっている、環境整備(使ったものを元に戻すなど)を継続する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日	令和7年12月10日 (19:00~20:30)
	令和8年1月8日 (19:00~20:30)
	令和8年2月5日 (19:00~20:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー	黒岩・荳口・小山・花田・成尾・中村(彩)・中村(敦)・田上・林・繰・日高・東中道・工藤・塩満・吉永・芝・ハン
------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	11人	1人	0人	16人

前回の改善計画	○年に4回身体拘束等適正化・虐待防止委員会を開催する ・そのテーマは、日々のケアの中でこの課題に抵触する要素を含んでいるかもしれない具体的な事例を基に職員で検討を行うことができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	年4回の委員会をよいどころでは全員参加で開催することとし、取り組めた。テーマも日々直面する具体的な場面を皆で振り返り検討することができた。また後半ではケアの具体的な場面を動画撮影して自分たちのケアがどのようなものか客観的に検討することの方法も知ることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	8	8	0	0	16
②	虐待は行われていない	8	8	0	0	16
③	プライバシーが守られている	4	9	3	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	5	3	2	6	16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	9	3	0	16

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・年に4回身体拘束等適正化・虐待防止委員会に参加することができた。・この委員会でのテーマが実際の自分たちのケアの具体的な場面を挙げて検討することができた。・言葉での行動制限や環境面で自由を奪うことがないよう意識できた。・自分の心を落ち着かせようと一呼吸おいて行動するよう心掛けた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・事業所のリビングでご利用者のプライベートな事柄を話してしまふことがあった。・委員会で挙げた以外のあれっとな気になる場面を皆で検討する機会などはつくれなかった。・身寄り問題のある方などいらしやるが、成年後見制度等を知らないままだった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ○ケアを撮影しながら実施することができるスマートグラスの活用 ・自分のケア(所作)を客観的に見つめる機会とする。・自分の普段のケアがその人にとって、チームにとって、ご家族や、第三者にとってどのようにうつるのか?気づける機会とする。
---------------	--

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	4	0	2
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	4	0	2
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	5	0	1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5	0	1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

- ・日頃から管理者中心にアットホームな環境で介護に取り組まれているので、自己評価においても皆で真剣に対応されていると思います。
- ・日々ご利用者と接しておられると同時に様々なことに向き合うことが多岐に渡るので、ご苦労も多いのでは？と推察しています。

【前回の改善計画に対して意見】(下の○が、前回の改善計画)

○1~9の項目の改善計画を担当する班(チーム)が中心となり進めていき、毎月の職員会議の場で経過報告をする。

- ・一人に任せるのではなく、チームで取り組むことで、いろんな意見が出るなどよい取り組みと思います。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・目標達成と力を入れ過ぎず、利用者のことと思って介護にあたることで自然と達成していくと思われます。
- ・決めたのにできなかった目標に対して、背伸びせず、できる目標になっていないのでは？また、目標が多すぎるのではないか？最低限のこれを！という目標にしては。
- ・カンファレンスとミーティングの違いは何か？言葉の理解の違いや、目標の到達イメージが明確になっていないと到達が難しい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・何年かこの評価に携わり思っていることが、司令塔の存在の重要性。日々変化する現場において、今、誰が決定している計画全体を見通して管理するのか？その機関や部署なども含め必要ではないか。
- ・人の介護をすることは大変でしょう。精神的な負担も大きいと思いますので従業員さん自身のケアも大事だと思います。
- ・できた、できないと明確に評価できている。数字だけを見ると「なぜできないのだろう」となるけど、それが自覚できていることは、反面、信頼がおけます。

【改善計画】

◎1~9の項目の改善計画を担当する班(チーム)が中心となり進めていき、毎月の職員会議の場で経過報告をする。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	4	0	2
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	6	0	0
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5	0	1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6	0	0
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・自宅の様な環境を整えて温かい雰囲気になっている。利用者に応じたソファや椅子を準備されているが、人が多いときは通所の集いの場として妨げになる気がしました。
- ・いつ訪問しても快く受け入れてくださるので良い雰囲気だと思います。

【前回の改善計画】

- 事業所が外部からみられる環境を意識し、花などをご利用者と育てていくことを楽しむ。
- ・整理整頓とされており、四季折々の環境に努めていると感じます。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・外から、玄関から見ても、オープンになっている。不思議に思うくらいスタッフさんが皆優しいと感心します。また、毅然ともしています。

【今回の改善計画】

- ◎事業所が外部からみられる環境を意識し、花などをご利用者と育てていくことを楽しむ。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	1
1	職員はあいさつできていますか？	6	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6	0	0
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域とのつながりを大事にされている事業所と感じています。
- ・いつも笑顔で挨拶して下さいます。小さなことでも相談にのっていただけました。

【前回の改善計画】

- ご利用者、スタッフ、地域住民が触れ合える機会を大事にする。
 →スクールガード、地域の行事清掃作業、夕涼み会等の継続。
- ・自らイベントを開催するなどオープンでよいと思います。
 - ・地域の行事に積極的に参加しています。今後のよろしく願いいたします。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・日頃から地域とのつながりがあり災害などが発生しても地域も助けてくれるが、事業所も頼れる存在と思います。

【改善計画】※後日記入

- ◎ご利用者、スタッフ、地域住民が触れ合える機会を大事にする。
 →スクールガード、地域の行事清掃作業、夕涼み会等の継続。
- ◎来客、地域の方など明るく挨拶をおこなうことができる。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	4	1	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4	0	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	0	0
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	4	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・温かみのある事業所で利用者の為であったり望みに応えてくれていると思います。また、高齢者に限らず地域の困りごとの一助になっている。
- ・利用者様の行きたいところや、やりたいことを認めて下さり、優先して実施されているのを運営推進会議等で知ることができました。

【前回の改善計画】

- ご利用者の暮らしの様々な営みが可能となるよう、必要な人やモノや場所を一緒に考えて行けるようにする。
- 他事業所さんと共に活動する機会をつくりだす。
 - ・近くの医療関係や地域との連携ができていると感じます。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・利用者に限らず地域の困りごとにも率先して対応されていると思います。
- ・利用者様はお花を見に行ったり、食事に行ったりと外出していますね。今後も無理のない程度で外出してください。

【改善計画】

- ◎近所の畑の作物を育てる中で、ご利用者と共に作業を楽しんで、地域の方との出会いのきっかけとする。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	5	0	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	4	0	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4	0	2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・ 毎回定期的で開催されている。
- ・ 開催案内はせめて二週間前にはお知らせいただきたい。
- ・ 熱心に意見を聞いてくださっています。
- ・ 仕事としての対象が人間であり、高齢者。預けている立場、預かっている立場として優先されることが安心、安全。反面、生きるとはリスクも伴う。その難しさ。

【前回の改善計画】

- 運営推進会議に多くのメンバーが参加できるようにアナウンスを早めに行なう。
- チームでの取り組みを意識して事業所側の参加メンバーも調整する。
 - ・ 地域の方々に毎回参加していただき、いろいろな話を聞けて楽しいです。
 - ・ 周辺事業所の参加が少ないかなと思います。(互いに多忙なので難しいとは思いますが)
 - ・ 業務に支障のない様、参加して頂ければと思います。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・ 地域の方の意見など傾聴されている。・ 避難、消火訓練、防災訓練など積極的に取り組まれている。
- ・ IT化になっていくが、仕事量は増えていると感じる。役所などもそう。そこに自分たちもついていけなくなっている感覚もある。ITに対応できないことの課題がある。

【改善計画】

- ◎ 運営推進会議の案内を二週間前にはお知らせを完了する。
- ◎ 運営推進会議に職員とご利用者も参加できる場にする事ができる
 - ・ 固定メンバー以外のスタッフが参加できるように計画する。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	0
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	5	0	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3	0	3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	5	1	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	5	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・避難訓練、防災訓練とよく取り組まれていると思います。まずは火災を起こさないように火の管理には特に注意してほしいです。
- ・避難訓練に参加させて頂けたこともあり熱心に取り組まれています。
- ・地域の防災訓練は実施していません。以前は公民館で実施していた事がありました。定期的には実施することは大切ですね。・先日の炊き出し訓練など地域とともに実施するなどしてほしい。

【前回の改善計画】

○年2回の火災避難訓練、その他の地域の災害を想定した防災訓練に運営推進会議のメンバーさんと一緒に取り組むことができる。

- ・常に危険箇所点検を行い、修繕すべき箇所や避難時、邪魔なものがないか確認をお願いします。
- ・訓練は真剣に取り組んでいます。よい取り組みでした。
- ・とても大切なことなので今後も続けてほしい。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・浸水想定訓練も必要かと思います。垂直避難訓練など。
- ・職員さんだけでは利用者様の避難は難しいことがある。近隣の方にもお手伝いしてもらおう手段を考えることが必要ですね。例えば「よいどこい防災LINE」みたいにつくるなど。
- ・事業所の現在の防災対応力の評価の共有。①建物、設備の対応力②事業所スタッフ、外部からの実際可能な応援体制の見通し（人的支援）③地域との連携力について④行政との連携力について

【改善計画】

◎年2回の火災避難訓練、その他の地域の災害を想定した防災訓練に運営推進会議のメンバーさんと一緒に取り組むことができる。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社浪漫	代表者	黒岩 尚文	法人・事業所の特徴	① 介護予防拠点の地域交流スペースを 365 日開放 ② 管轄警察と校区小学校からの子ども 110 番の認定。 ③ 霧島市まちかどまるごと相談所設置及びライフサポートワーカーの配置。 ④ ライフサポートプランの導入。 ⑤ 霧島市地域密着型サービス事業者連合会の事務局を担い、行政・地域包括支援センター・事業所のネットワークを作る役割を担っている。 ⑥ 加治木に同法人の事業所があり、互いに連携を図っている。 ⑦ 社会貢献活動の受け入れ ⑧ 学生の職場体験の受け入れ ⑨ スクールガードへの参加 ⑩ 府中公民館・朝日自治会の加入 ⑪ 府中防災組織協力事業所 ⑫ 積み木プロジェクト（アイランドホーム・隼人工業高校と連携して積み木を保育園へ届ける事業）（霧島市ふるさと納税出品） ⑬ 霧島市緊急ショートステイ事業(高齢者虐待事例等)の受け入れ ⑭ 霧島警察署・霧島市役所からの DV 被害者や生活困窮者等について第一通報拠点としての役割を担い、一般社団法人サツマスタへ連携を行っている
事業所名	地域サポートセンターよいどこい	管理者	笠口 淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	5人	0人	0人	0人	0人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	○1～9 の項目の改善計画を担当する班（チーム）が中心となり進めていき、毎月の職員会議の場で経過報告をする。	担当グループがあることで、グループメンバーから毎月進捗状況等を報告することができた。反面、進まないところについての問題整理などが積極的に進まないところがあった。	・一人に任せるのではなく、チームで取り組むことで、いろいろな意見が出るなどよい取り組みとします。	◎1～9 の項目の改善計画を担当する班（チーム）が中心となり進めていき、毎月の職員会議の場で経過報告をする。
B. 事業所のしつらえ・環境	○事業所が外部からみられる環境を意識し、花などをご利用者と育てていくことを楽しむ。	花壇や、プランターに季節ごとに花を植え、環境を明るく、あたたかくすることができたと思う。	・整理整頓とされており、四季折々の環境に努めていると感じます。 ・外から玄関から見えても、オープンになっている。不思議に思うくらいスタッフさんが皆優し	◎事業所が外部からみられる環境を意識し、花などをご利用者と育てていくことを楽しむ。

			いと感心します。	
C. 事業所と地域のかかわり	<p>○ご利用者、スタッフ、地域住民が触れ合える機会を大事にする。</p> <p>→スクールガード、地域の行事清掃作業、夕涼み会等の継続。</p>	<p>スクールガード、地域の行事や清掃活動、ほか、夕涼み会を開催し、地域の方が多く足を運んでくださったことはうれしかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自らイベントを開催するなどオープンでよいと思います。 ・地域の行事に積極的に参加しています。今後もよろしく願いいたします。 	<p>◎ご利用者、スタッフ、地域住民が触れ合える機会を大事にする。</p> <p>→スクールガード、地域の行事清掃作業、夕涼み会等の継続。</p> <p>◎来客、地域の方など明るく挨拶をおこなうことができる。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>○ご利用者の暮らしの様々な営みが可能となるよう、必要な人やモノや場所を一緒に考えて行けるようにする。</p> <p>○他事業所さんと共に活動する機会をつくりだす。</p>	<p>身寄りのないご利用者も多く、その方を支える関係機関や、他の事業所さんと協力していくことが意識してできたと思う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの医療関係や地域との連携ができていますと感じます。 ・利用者に限らず地域の困りごとにも率先して対応されていると思います。 ・利用者様はお花を見に行ったり、食事に行ったりと外出していますね。今後も無理のない程度で外出してください。 	<p>◎近所の畑の作物を育てる中で、ご利用者と共に作業を楽しんで、地域の方との出会いのきっかけとする。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>○運営推進会議に多くのメンバーが参加できるようにアナウンスを早めに行なう。</p> <p>○チームでの取り組みを意識して事業所側の参加メンバーも調整する。</p>	<p>○参加したメンバーさんと次回の予定を決めるが、不参加だったメンバーさんへの開催予定の通知が遅れることがあり、参加できなかった場面もあった。</p> <p>○他のスタッフが参加する機会を作り出すことがほとんどできなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々に毎回参加していただき、いろいろな話を聞けて楽しいです。 ・周辺事業所の参加が少ないかなと思います。(互いに多忙なので難しいとは思いますが) ・業務に支障のない様、参加して頂ければと思います。 	<p>◎運営推進会議の案内を二週間前にはお知らせを完了する。</p> <p>◎運営推進会議に職員とご利用者も参加できる場にすることができる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・固定メンバー以外のスタッフが参加できるように計画する。
F. 事業所の防災・災害対策	<p>○年2回の火災避難訓練、その他の地域の災害を想定した防災訓練に運営推進会議のメンバー</p>	<p>防災訓練は特に運営推進会議のメンバーさんと一緒に取り組むことができ、様々なご意見もいただくことができました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常に危険箇所点検を行い、修繕すべき箇所や避難時、邪魔なものがないか確認をお願いします。 ・訓練は真剣に取り組んでいま 	<p>◎年2回の火災避難訓練、その他の地域の災害を想定した防災訓練に運営推進会議のメンバー</p>

	さんと一緒に取り組むことができる。		す。よい取り組みでした。 ・とても大切なことなので今後も 続けてほしい。	さんと一緒に取り組むことができる。
--	-------------------	--	--	-------------------